

# 地域における再生可能エネルギーの普及及び地域活性化に関する研究

研究分野:環境経済学、環境政策論

キーワード:再生可能エネルギー、地域活性化、事業経営、ガバナンス、地域新電力

貢献できるSDGsの区分:

目標7(特に、7-1、7-a)

目標8～地域経済循環

目標11(特に、11-3、11-a)

目標17～多様なステークホルダー間の協働



地域創造学部 実践経済学科 准教授 芳賀 普隆

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/hhaga/>

## 研究概要

第7次エネルギー基本計画が2025年2月に閣議決定され、電源構成の目標に関して、再生可能エネルギーが22.9%(2023年度、速報値)から4～5割程度(2040年度)へ引き上げられるなど、再エネの主力電源化に向けた具体的な方策が求められている。また、東日本大震災以降、大規模集中型の電力供給に対するリスクの顕在化と地域分散型エネルギーへの着目等に伴い、地域における再生可能エネルギー普及が期待されている。また、地方では少子高齢化、人口減少に加え、電力会社への支払いにより地域から富が流出している中、エネルギーの地産地消に加え地域経済循環も喫緊の課題である。そのような地域における再生可能エネルギーの普及及び地域活性化の実現に向け、再生可能エネルギー普及における現状分析や事業運営のあり方、ステークホルダー間の連携・協働、その具体的な形としての地域新電力の現状と可能性、課題、地域社会への実装に向けた諸条件や方策を明らかにする。

## 産学連携の可能性(アピールポイント)

- 地域における再生可能エネルギー普及に向けた現状分析・評価
- 地域における再生可能エネルギー事業運営及びガバナンスの分析
- 地域における再生可能エネルギー普及を通じた地域活性化・地域貢献
- 地方自治体におけるSDGs推進に向けた調査・研究
- 地域における再生可能エネルギー普及・促進人材育成に向けた、高校、大学、地域団体との連携、普及・啓発活動

## 外部との連携実績等

### ■学外連携、研修講師

-地域公開講座(佐世保市中央公民館、大村市郡コミュニティセンター等)、長崎県立大学・公開講座、高校への出前授業及び模擬授業

### ■外部資金

-科研費(基盤研究(C))「九州地域における再生可能エネルギーの普及拡大と地域活性化に関する研究」(研究代表者、代表:芳賀普隆、共同研究)2019-2023年度

### ■地域や企業との学外連携

-「自治体SDGs」に関する共同研究(福岡県地方自治研究所、九州大学アジア・オセアニア研究教育機構との連携)、東アジアのグリーンリカバリーと脱炭素社会の実現に関する研究(立命館大学アジア・日本研究機構アジア・日本研究推進プロジェクト)、(一社)ESPO(高島活性化コンベンション協会)と連携した離島の環境問題・地域活性化支援など

### ■学外委員等

-佐世保市環境政策審議会・副会長、佐世保市環境政策審議会・環境基本計画部会・部会長、佐世保市環境教育等推進協議会・会長、長崎県SDGsアドバイザー派遣制度・長崎県SDGsアドバイザーなどを歴任